

正確な生存率で毒性検査をスムーズに！

生死細胞オートアナライザー

Vi-CELL XR

Innovate Automate
SIMPLIFY

細胞は現在、血球計算板で1個1個、目でカウントし、細胞の生存率と能動を測定しています。しかし、このような目で確認した値は人によって、または状況によって変わってきます。

特に人の目による生死の判定はそのときの体調でも変化する場合があります。安定して細胞を管理する上でばらつきがあります。特に、細胞による各種抗がん剤等の薬物毒性を調べる場合、細胞の生存率を正確に把握することができません。

これら毒性検査を行う場合、添加前の細胞の生存率を正確に把握する必要がありますが、細胞の管理を正確に行おうとすると、測定者1人に加わる拘束時間が長くなり、個人誤差や手間が大きく負担になります。これらをすべて解決するのがVi-CELL XRです。

今回は、3種類の抗がん剤について濃度を変えて添加した場合の、細胞の生存率測定における再現性を紹介します。



表) 3種類の抗がん剤の添加量に対する生存率の変化

Triton-X		Etoposid		Vinblastine	
添加量	生存率(%)	添加量	生存率(%)	添加量	生存率(%)
なし (n1)	91.3	なし (n1)	90.3	なし (n1)	92.1
なし (n2)	92.6	なし (n1)	90.3	なし (n1)	91.2
0.001% (n1)	89.8	0.1% (n1)	87.5	0.1% (n1)	45.5
0.001% (n2)	89.6	0.1% (n2)	86.9	0.1% (n2)	46.9
0.01% (n1)	85.6	1% (n1)	71.2	1% (n1)	37.3
0.01% (n2)	85.7	1% (n2)	72.1	1% (n2)	36.6
0.1% (n1)	28.9	10% (n1)	39.4	10% (n1)	29.1
0.1% (n2)	28.3	10% (n2)	39.9	10% (n2)	30.8

3種類の抗がん剤の濃度に対する生存率の変化がきちんと測定できた上に、n1とn2でほぼ同じデータが取れているため再現性も安定しています。これはVi-CELL XRが50枚撮影したデータから統計を取るためであり、これまでのような血球計算板法とは比較にならない再現性で、誰が測定しても信頼性の高いデータが得られます。また、Vi-CELL XRはFDA等にも対応していますので、各種規格の問題も解消しています。

ベックマン・コールター株式会社

お客様専用 ☎ 0120-566-730 ☎ 03-6745-4704 FAX 03-5530-2460

e-mail bckkas@beckmancoulter.co.jp URL <http://www.beckmancoulter.co.jp>

本 社：〒135-0063 東京都江東区有明2-5-7 TOC有明ウエストタワー 大阪支店：〒560-0083 大阪府豊中市新千里1-1-8 第一火災ビル8F

全国サポートセンター：札幌・仙台・つくば・名古屋・広島・福岡

PCF26-0612